

6年国語科学習

単元の概要と言語活動

● この単元は、「やまなし」や他の作品も読み深めていくことを通して、宮沢賢治の生き方や考え方を自分なりの言葉と表現方法でまとめ、発信する学習です。お話の中に出てくる造語や独特の表現をもとに思いを膨らませながら自分の考えを深め、賢治の人物像に迫ります。

そして、学習のまとめとして、宮沢賢治展開き、学校の仲間や家の人に、紙芝居、音読、パフレット、本の帯など個々にまとめ方の工夫をして、学習してきた（賢治の生き方・考え方）ことを発信します。

単元の目標

- 並行読書を通して、目的を意識しながら本を読んだり、自分の考えを広げたり深めたりするとともに、作品を作者の人となりに関連させながら読み、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。 【関意態】
- 作品の情景を豊かに想像したり、表現を対比的に読んだりしながら作品の特色や作者のものの見方や感じ方について考えることができる。 【読む】
- 語感や言葉の使い方の特徴に気づきながら、関心を持って読み進めることができる。 【言語】

本時の目標

- 「やまなし」の作品を通して、宮沢賢治は何を伝えたかったのか考えることができる。 【読む】

単元を終えて



研究授業



単元名

「宮沢賢治展を開こう～文学の秋！自分たちの手で学びを発信！～」
『やまなし』『イーハトーヴの夢』（光村図書6年下）

研究授業日：平成28年10月17日（月）

場 所：6年教室 指導者：角出 昭子 教諭

単元の流れ

賢治の作品の世界を自分の言葉で自分で考えた方法で発信する。（単元の言語活動）

全 8 時間

■ 一次（2時間） ■
○単元の見通しを持つ。
・賢治展を開くことを知る。
・賢治の生き方考え方に触れる。

■ 二次（4時間） ■
○賢治の人物像にせまる。
・幻想がどのような世界か考える。
・やまなしの作品を通して言いたかったことを考える。
・賢治の人となりを探る。

■ 三次（2時間） ■
○賢治展を開く。
・賢治展の準備をし、全校や家の人に発信する。

